

鳥取大学工学部附属

地域安全工学センター主催「特別セミナー」

暮らしを守る 社会基盤計画

神戸大学 大学院
工学研究科 市民工学専攻
喜多 秀行 教授

昭和55年04月
京都大学工学部交通土木工学科助手
昭和63年10月
鳥取大学工学部社会開発システム工学科助教授
平成08年04月
鳥取大学工学部社会開発システム工学科教授
平成18年04月
神戸大学工学部建設学科教授
平成19年04月
神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻教授



人々の暮らしや地域社会の維持に必要な社会基盤整備は一種の相互扶助であり、その計画は他者への共感と地域社会全体を見据えた公共的判断に基づき形成された住民の総意に沿って策定することが要請される。

本セミナーでは、「地域社会の総意」、「受益と負担の組み合わせ」、「相互扶助」、「分権的調査法」、「活動機会の大きさ」、「共感と公共的判断」といったキーワードを手がかりに、従来の功利主義的な考え方とは異なる新たな計画方法論を展望したい。

2019年

12月19日 (木)

13:00-14:30

鳥取大学工学部棟

22 講義室

予約不要

誰でも参加できます